

---

# 感染症対策と経済活動の両立： コロナ危機終焉に向けて

2021年2月6日

藤井大輔（東京大学）

仲田泰祐（東京大学）

# 自己紹介・動機

- 藤井大輔
  - 専門は国際貿易・最近は企業間のネットワークの実証分析
- 仲田泰祐
  - 専門は金融政策・昨年までFRBでマクロモデルを使った政策分析
- 多くの経済専門家が様々な視点からコロナ分析
  - . . . が、感染症対策と経済活動の両立については具体的な試算がほとんどない

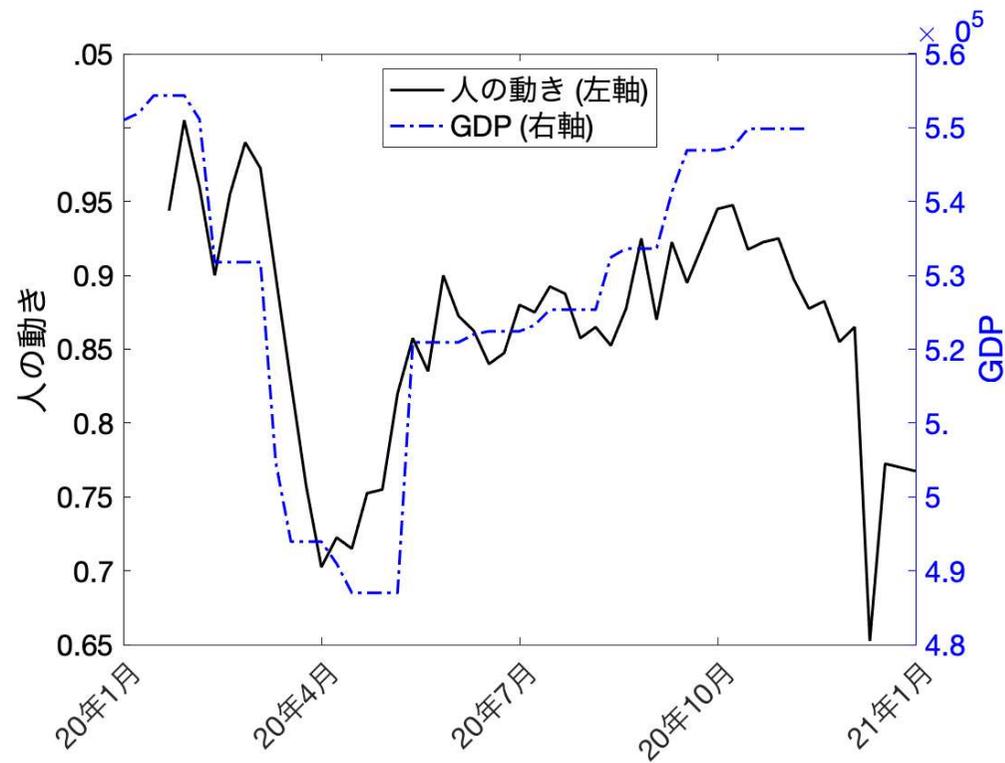
# 目的

- 新たな「気付き」
- 意見の異なる人々間でのイメージ共有
- 議論のたたき台
- ある程度の予測精度

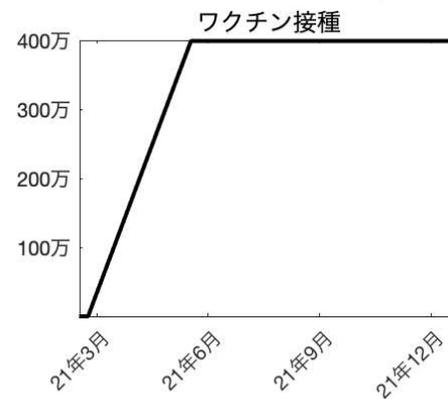
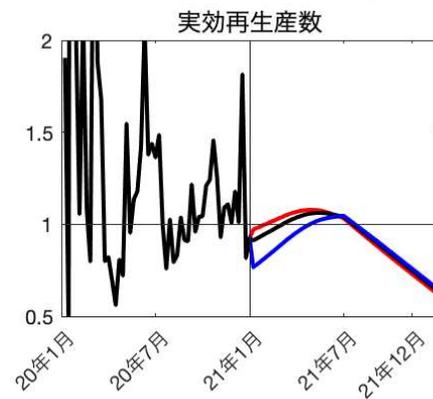
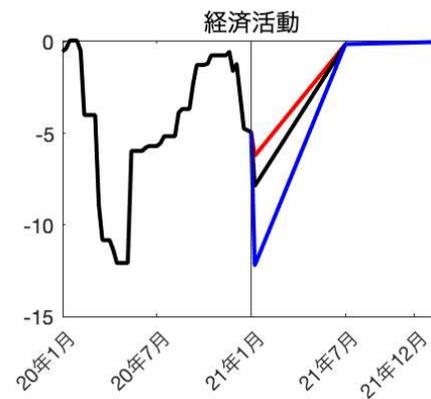
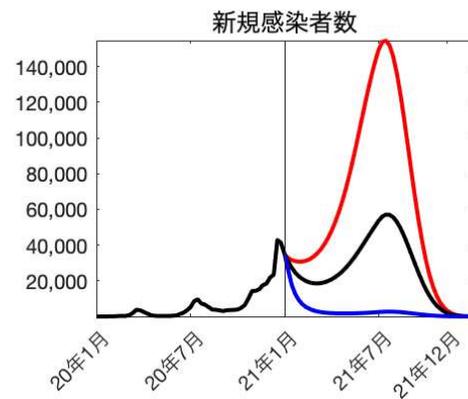
# 枠組み

標準的な  
疫学モデル

+

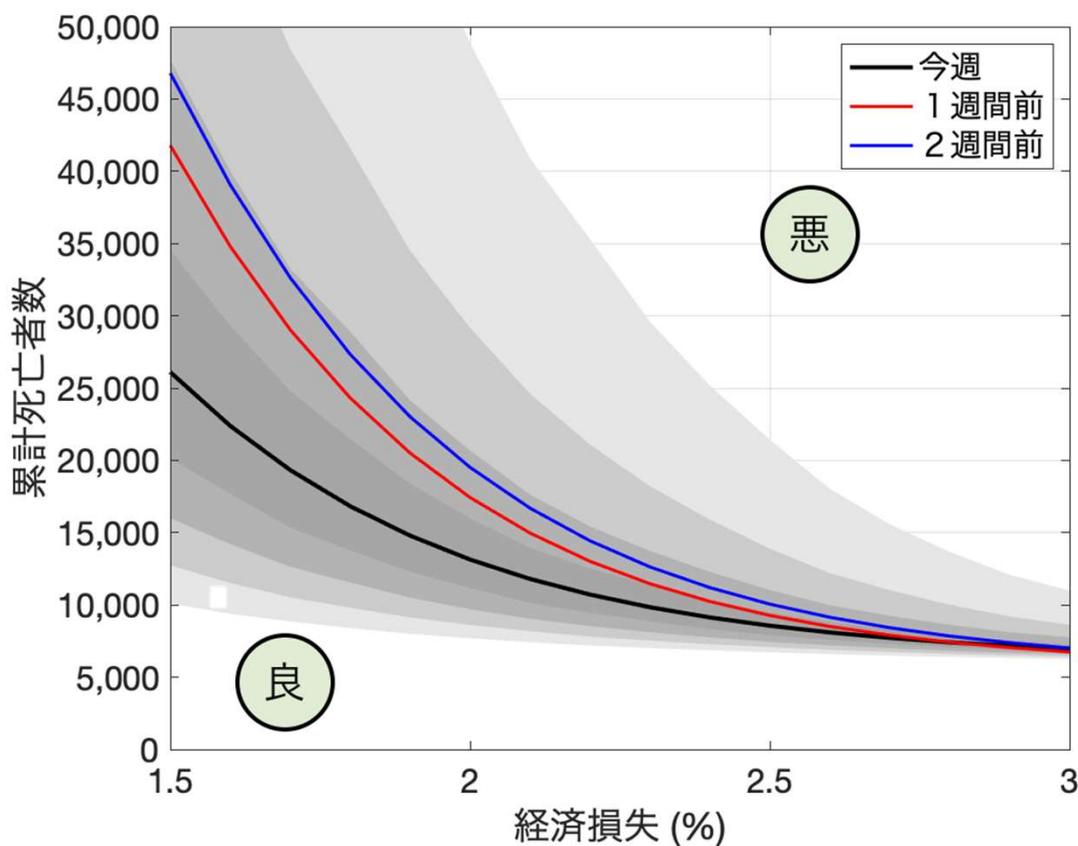


# シミュレーション（日本全体・今後一年）



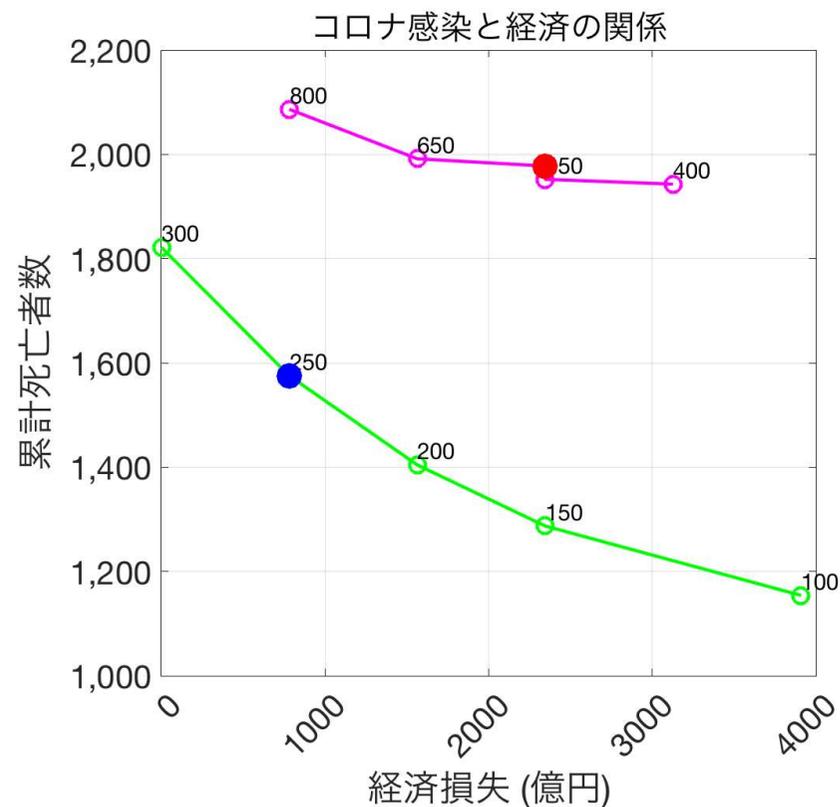
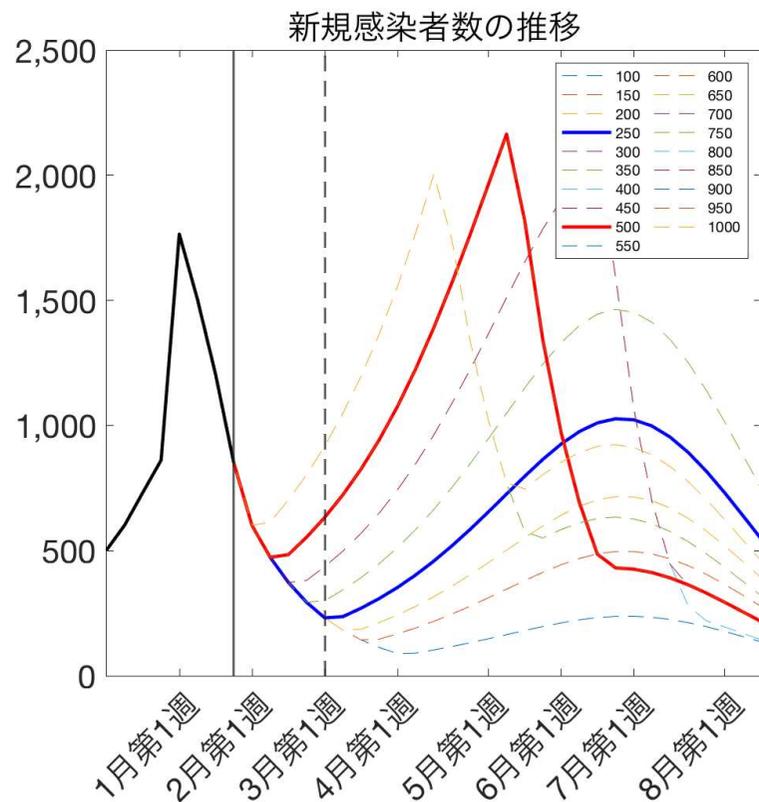
**赤** : GDP損失1.5%  
**黒** : GDP損失2%  
**青** : GDP損失3%

# 感染抑制と経済損失（日本全体・今後一年）



- 左下に行けば行くほど望ましい
- トレードオフ
  - 経済損失を大きくすれば、感染を抑制することができる
- 予測は
  1. 不確実
  2. 毎週変わる

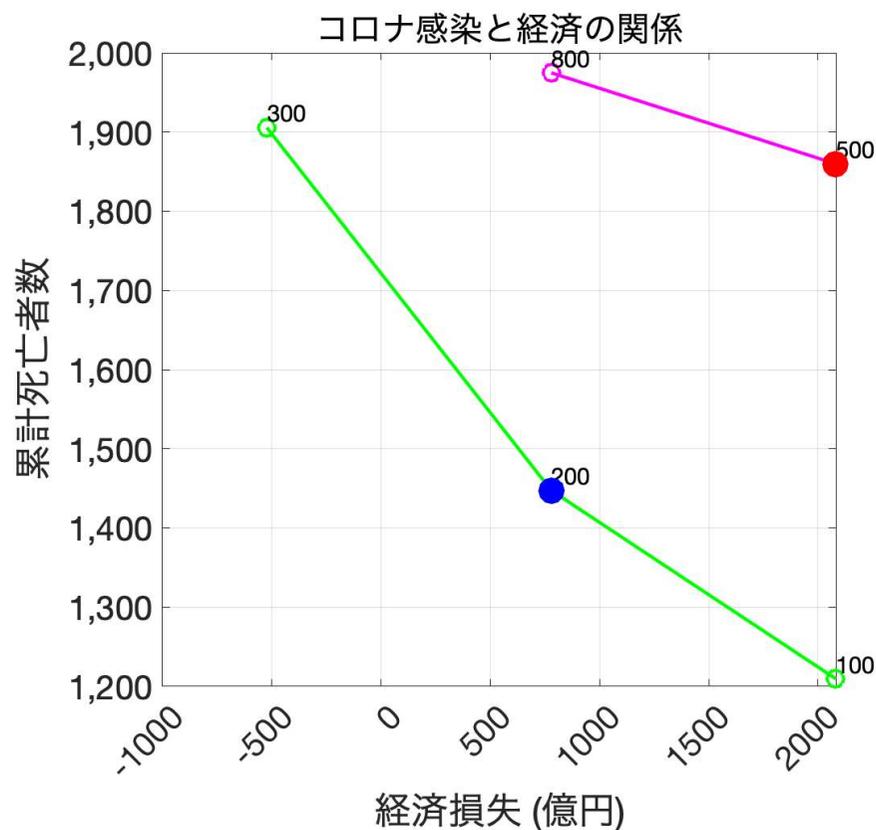
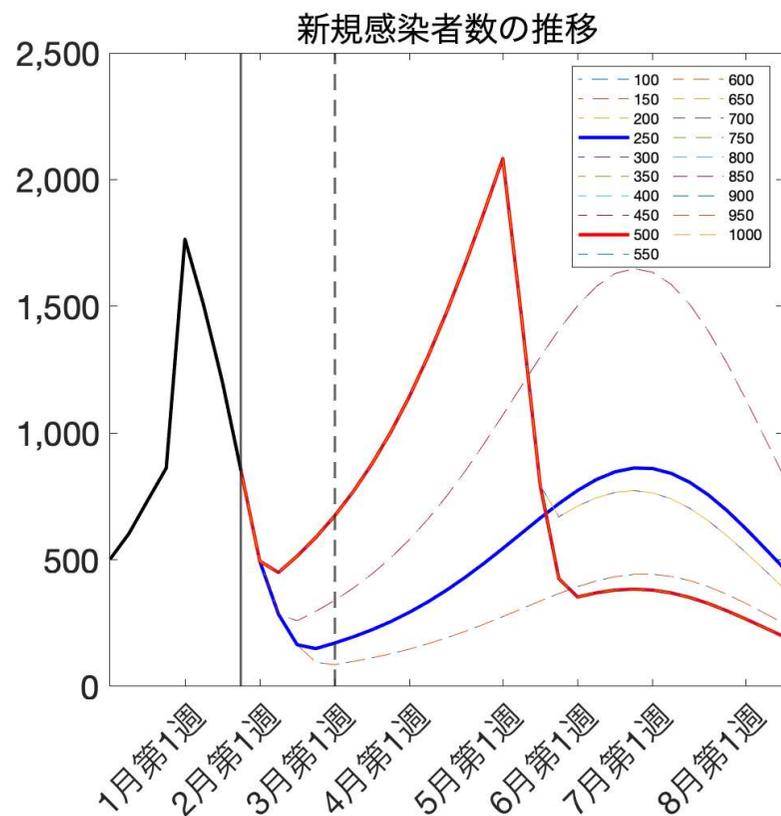
# 東京：基本シナリオ 3月第1週に平均新規感染者数1日250人



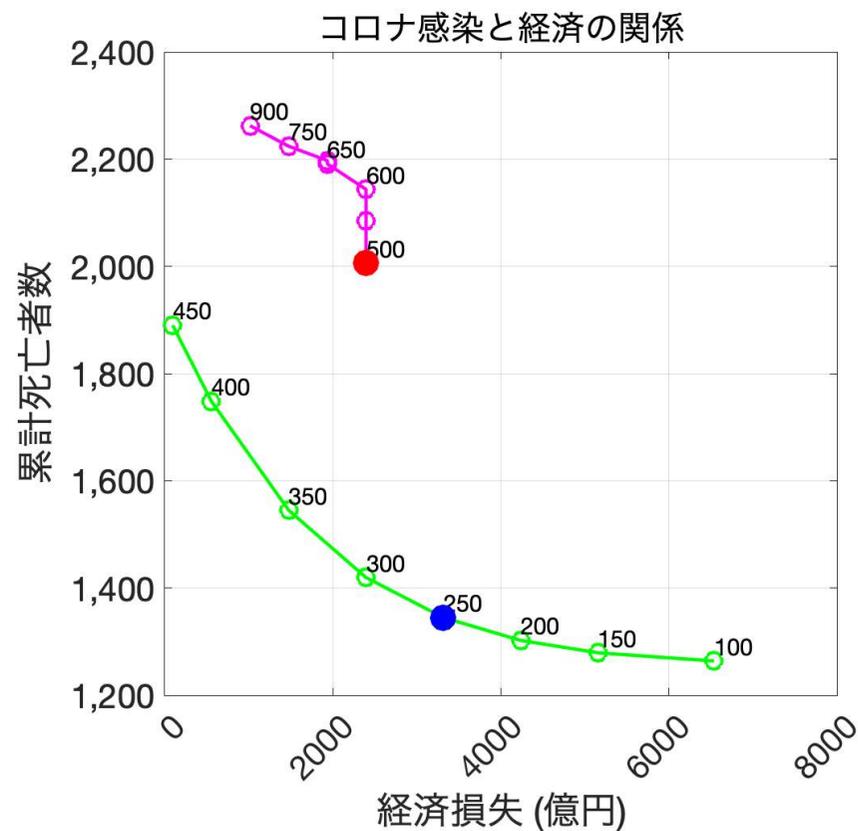
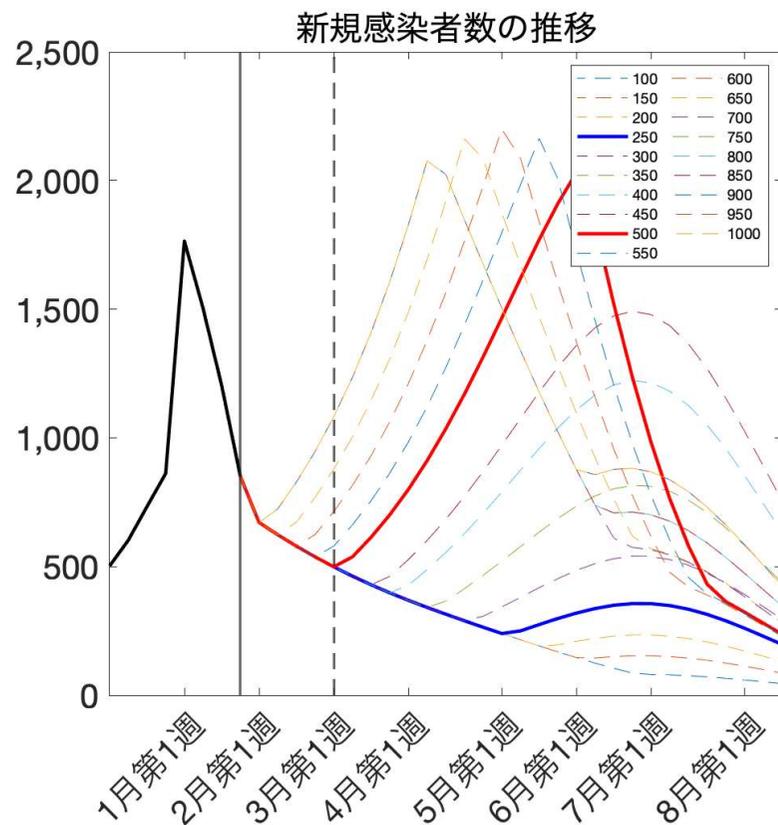
# 緊急事態宣言の解除基準

- 解除基準が緩いと「再度緊急事態宣言」の可能性が高くなる
- 再度緊急事態宣言をするケースでは、トレードオフ曲線が右上にシフトする
  - 感染症対策と経済両方にとってよくない状態
  - 何故？
    - 短期的には感染症対策と経済はトレードオフの関係
    - 中・長期的には必ずしもそうではない [再度緊急事態宣言＝再度経済抑制]

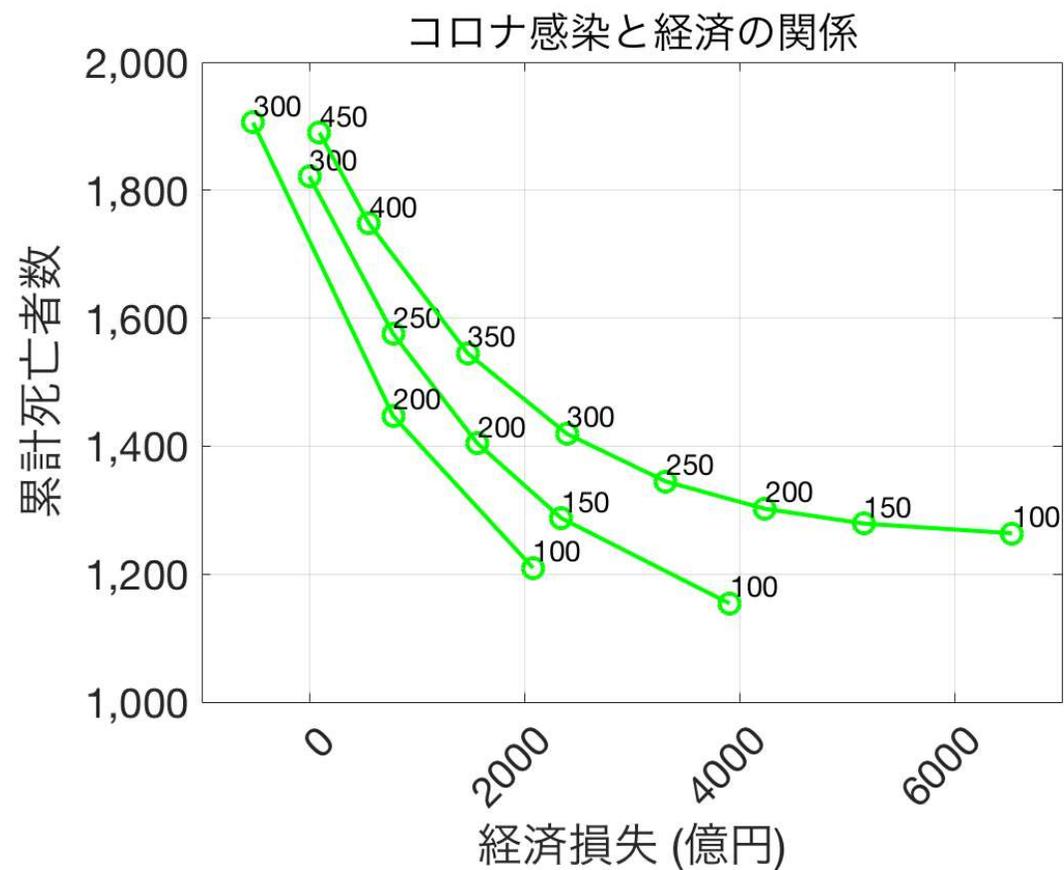
# 東京：急速減少シナリオ 3月第1週に平均新規感染者数1日100人



# 東京：緩やかな減少シナリオ 3月第1週に平均新規感染者数1日500人



# 上記3シナリオの比較



# 望ましい戦略

1. 「急速な感染減少&低めの解除基準」が（可能なら）一番望ましい
  - 例えば2月後半に200人で解除 [死者1450人位&損失約700億]
2. 次善の策は「基本ペースでの感染減少&中間解除基準」
  - 例えば3月第1週に250人到達で解除 [死者1600人位&損失約800億]
3. もしくは「緩やかな感染減少&高めの解除基準」
  - 例えば3月後半に350人到達で解除 [死者1550人位&損失約1500億]

# 避けたい戦略

## 1. 「急速な感染減少 & 高い解除基準」

- 例えば2月第3週に500人で解除 [死者1900人位&損失約2000億]
- **再度緊急事態宣言リスクが高い**

## 2. 「緩やか感染減少 & 中間・低めの解除基準」

- 例えば5月に200人到達で解除 [死者1300人位&損失4000億]
- **経済コストが膨大**

# 不確実性が高い状況での政策判断の一つの指針

## 1. 不確実要素が沢山

- ワクチン接種ペースの見通し・変異株・季節性・人流と感染の関係の変化・モデルがどのくらい信頼できるか、等

## 2. 感染症の非対称性

- 解除が（知りえない最適な値よりも）少し早いことのコスト > 少し遅いことのベネフィット

## 3. 「不確実性」 + 「非対称性」 = 「解除は遅めに」

- ...という考え方は様々な政策現場で広く受け入れられている（例：ゼロ金利政策）

# 政策コミュニケーション

1. コロナ禍では、多くの人々は「今週・今月」より先を考える余裕が無い

- 来週までお店を守り続けることが出来るか
- 数週間後には病床数が足りなくなってしまうのでは
- 来月の家賃はどうやって工面しようか

2. 政策の現場の人々も同様

3. 緊急事態宣言長期化の場合、中・長期の見通しの提示が不可欠

# 最後に

- 毎週火曜日分析を更新

<https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/>

- 質問・分析のリクエスト等で我々は成長します
  - [dfujii@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:dfujii@e.u-tokyo.ac.jp)
  - [taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp)